

大安寺報

第54号



名句・名言に学ぶ

アインシュタイン(理論物理学者)

人生には、二つの道しかない。一つは、奇跡などまったく存在しないかのよう

皆さんは、九死に一生を得た体験をなさったことがありませんか？私自身、大本山永平寺に上山後、慣れない修行生活の中でストレスを抱えたためか、十二指腸潰瘍で緊急入院した経験があります。数日間痛みに苦しんだ後、痛みが癒えた朝に見た太陽と、いただいた重湯の美味しさは今でも忘れられません。今思えば、自身の思い通りにしないことを「思い通りにしよう」と執着していたことが原因だったのでしょうか。お釈迦さまは、「生老病死」という苦しみの原因を探るために、地位や家族を捨てて出家修行されました。その結果見極められた真実の一つに「一切皆苦」があります。

曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

「一切皆苦」とは、世の中の全ての現象は苦(刻々と変化する無常なる存在であり、そのため人間の思い通りにならない)であるという真実です。人によっては、この教えを悲観的にとらえるかもしれません。しかし、お釈迦さまは、その上で、悲観的な見方を乗り越えるための方法として八正道をお説きになりました。私たち曹洞宗の坐禅は、その八正道の一つ「正念」の中に位置づけられます。

冒頭のことばは、一切皆苦の真実を「悲観的にとらえた生き方」と「乗り越えた生き方」を示しているように思えます。私たちは生きていく中で、時に「有難い」と思える出来事に出会えるものではないでしょうか？また、日々の何気ない出来事を「有難い」(有ることに感謝)ものと思いなすことで、日々幸せを感じながら生きることが可能となります。私たちが生きるこの世界は、膨大な条件の組み合わせの中で、様々な偶然が重なりあって生まれているものであり、日常の些細な出来事も奇跡といえるものです。すべての出来事を奇跡ととらえ、「有難い」と思える生き方を共に目指したいものです。(副住職)

仏事 Q&A 第三十七回

Q、お盆の由来と意味は？
A、お盆は、ご先祖さまをはじめ、あらゆるみ霊を供養する行事で、元々は「盂蘭盆会」といいます。「盂蘭盆」ということばは、古代インドの言語であるサンスクリット語で「逆さ吊りの苦しみ」を意味する「ウランバナ」を音写したもので、逆さに吊られた亡者を供養する意味があったと理解されています。しかし最近では、古代イランのことばで「靈魂」をあらわす「ウルヴァン」が語源で、当地で靈魂を祀る儀礼が伝わるうちに「盂蘭盆」と呼ばれるようになった、という説が有力となっています。日本では、六五七年に宮中で初めて行われた記述があり、それが民間にも受け入れられるようになると、ご先祖さまのみならず、生きとし生けるものすべてに供養を施し、幸福を願う国民行事として定着しました。「施食会」なども、お盆に関係した行事です。
※参考資料：「禅の友」令和元年八月号

ご案内

【法事について】

- 法事を依頼する際は、電話(0175-34-2926)・メール(info@daianji.jp)・直接訪問にて希望日時をお伝えください。当寺の予定と照らし合わせの上、日時を決定します。
※ネット上からの依頼はこちらからどうぞ → <http://www.daianji.jp/info.html>
- 依頼される際は、必ず供養対象の方全員の「お名前」「何回忌か」「ご命日」をお知らせください。
- 複数の方を一緒に供養(併修)することも可能ですが、なるべく最近亡くなった方のご命日近くの日程で営むのが良いでしょう。
- 供物(あげもの)をご準備ください。内容については特に決まりはありませんが、なるべく少量にてお願いします。
- 可能であれば前日までに当寺にお届けください。当日お持ちになる場合は、開始十分前までに当寺においでください。
- 原則として、法事は当寺本堂にて執り行います。なお、墓経については、当寺境内に墓地のある場合のみ執り行います。
※当寺境内墓地以外に墓をお持ちの方は、ご遺族のみでお参りをお願いいたします。
- 法事の際は、位牌堂もしくはご自宅より、供養対象の方の位牌をお持ちください。
- 塔婆料は、三回忌までが一本二千元、七回忌以上は一本五千元を申し受けます。
- 字の消えた古い塔婆は、当寺にてお焚き上げいたします。当寺までご相談ください。

【お墓参りについて】

- カラス等が散らかしますので、お墓にお供えになった供物については、全てお持ち帰りくださるようお願いいたします。(缶・瓶飲料含む)
- お花は供えたままで結構ですが、供える際は、透明な包み紙を取るようお願いいたします。
- ゴミは全てお持ち帰りください。

【迎え火・送り火萬灯会への献灯について】

- 献灯料：紙製カップローソク・五百円(迎え火用・送り火用それぞれ)
- 頒布：八月三日(土)より当寺事務所にて。
- 備考：迎え火・送り火両日とも、午後六時までに当寺山門付近の受付にお持ちください。
- ※カップローソクには、亡き方へのメッセージや、「○○家先祖代々供養」「戒名 霊位供養」等とお書きください。
- ※プラスチック製キャンドルホルダーの献灯は、ご自宅からホルダーをご持参いただき、献灯用キャンドル(二百円)をご購入くださった方のみの献灯とさせていただきます。

各種講座のご案内

(令和元年八月〜九月)

- ◆「月例写経会」(予約不要)
日時：八月二十五日(日)、九月二十九日(日) 午後一時〜三時
内容：ミニ法話と写経法座(茶話会 参加自由) 場所：中広間 参加費：五百円 ※椅子席あり。
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
日時：八月十一日(日)・二十五日(日)、九月八日(日)・二十二日(日) 午前七時〜八時半 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介と坐禅法座(茶話会 参加自由) 場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- 八月十三日(火)
「迎え火萬灯会」午後六時半〜午後八時半
- 八月十六日(金)
「盂蘭盆会 施食会法要」(本堂)午前十一時〜
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂
- 九月二十三日(秋分の日)
「送り火萬灯会」午後六時半〜午後八時半
- 「秋季彼岸会法要」(本堂)午前十一時〜
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂

編集後記

前回の寺報でご案内した「特派布教・伝道車巡回法話を聞く会」「下北こども寺キャンプ」の両行事を無事終えることができました。ご来場・ご協力くださった皆さんにこの場を借りて御礼申し上げます。日々、「今日彼岸菩提の種を蒔く日かな(与謝蕪村)」の精神で、今後ともたゆまず布教教化活動を実践し、種時きを続けて参りたいと思います。(副住職)

次号のご案内 令和元年九月下旬に発行予定です。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禅師 太祖：瑩山禅師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)